

PowerAddress をご利用いただき誠にありがとうございます。ご利用の前に本書を必ずお読みください。

■目次

1. はじめに
2. 動作環境
3. 使用許諾契約書
4. インストール／アンインストール方法
5. 起動／終了方法
6. 基本的な使い方
7. お問い合わせ先
8. 著作権情報など

最新情報や操作方法については、以下のページを参照してください。

PowerAddress

<http://poweraddress.powershift.jp/>

サポート

<http://poweraddress.powershift.jp/support/>

FAQ (よくある質問と答え)

<http://poweraddress.powershift.jp/faq/>

ヘルプ

<http://poweraddress.powershift.jp/help/>

Powershift (パワーシフト)

info@powershift.ne.jp

<http://www.powershift.ne.jp/>

Copyright © 2000-2013 Powershift All Rights Reserved.

1. はじめに

本製品は、個人情報管理のためのデータベースソフトです。国内外の連絡先や関連メモの管理、名簿印刷、宛名印刷などがご利用いただけます。

■PowerAddress の主な特長

- Win、Mac、iOS (iPad、iPhone など) で使えるパワフルな DB ソフト
- ランタイム利用のほか、FileMaker 製品を使ったより高度な利用が可能
- コピー&ペーストで入替可能な Win/Mac/iOS 互換の住所録ファイル
- パスワードによるデータの保護
- 将来の乗り換えにも安心な豊富な対応ファイル
- リスト形式 x8、表形式 x1、カード形式 x3 の多彩なレイアウト
- 国内外の住所管理が可能、英語圏向けにコンマや改行を自動挿入
- 郵便番号と住所の相互変換、大口事業所データを含む専用の郵便番号 DB
- オートコンプリートによる入力補助機能
- フィールドの索引機能、索引一覧の表示、一覧からの入力
- 表示名が、“姓+名”、“所属”、“通称”、“旧姓+名”から選択可能
- 姓名、誕生日データの分割機能、一括処理も可能
- 姓と名の間にある姓名分割ボタンで、入力時の姓名を簡単に分割
- 全角ひらがな、全角カナ、半角カナのふりがなデータを自動生成
- 住所関連データを自動生成、あらゆる住所録フォーマットに再利用可能
- 住所データをもとにした地図検索サイトへのリンク機能
- 顔写真などの画像のほか、ボイスメモや任意のファイルの保存が可能
- 項目名を変更できる 8 つのメモと、スクロール可能な大容量メモ
- 本人や家族の年齢を自動計算、誕生日入力は西暦と元号に対応
- フィールドデータの全置換、最適化、マーク ON/OFF などの一括処理
- フィールド内容の複製、移動、入替、追記が可能
- 姓名の先頭文字から素早く検索できる先頭文字検索機能
- 個々のデータ項目を指定して検索できるカード検索機能
- 全データ項目を対象にして検索できる横断検索機能、曖昧検索にも対応
- ボタン一つで Mac の連絡先 (アドレスブック) を更新可能
- リストまたはカード形式での名簿印刷、縮小して A5 システム手帳にも
- はがき、長形封筒、洋形封筒、角形封筒への宛名印刷、エアメール対応
- A4/レター判ラベルへの宛名印刷、反復印刷や印刷開始位置の指定が可能
- 差出人画像や会社のロゴ画像の印刷が可能
- レコード毎にカスタマイズした電子メールの作成が可能

■前バージョンからの主な改善点、新機能 (v4.9)

Win/Mac ランタイム環境および FileMaker 環境での改善点、新機能

- データベースを FileMaker Pro 12.0v4 にアップグレード
- 長形3号封筒の宛名アルゴリズムを改善、最適化
- 長形3号封筒の宛名、フォントサイズや表示名の指定が可能
- 長形3、4号封筒縦置き of 180度回転印刷機能を改善、余白調整
- 長形3、4号封筒横置き of レイアウトサイズと余白設定を変更
- 洋形0～4、6、7号封筒横置き of レイアウトサイズと余白設定を変更
- About 画面やライセンス画面にユーザー数を追加
- 英文スペルチェックの下線表示対応 (疑わしいスペルを赤の点線で表示)
- Win 環境で Google 日本語入力の変換候補が表示されない問題を修正
- 郵便番号データベースを 2013/04/30 版に更新
- その他、いくつかの機能の改善や修正

FileMaker 環境での改善点、新機能

- FileMaker によるインスタント Web 共有に対応
- その他、いくつかの機能を FileMaker 環境用に調整

■試用期間中の制限事項

起動から 30 日間または起動回数 30 回までは一部の制限事項を除き、ほとんどの機能を無料で試すことができます。試用期間中の制限事項は以下のとおりです。

- レコードが 15 件を超過するとデータの編集や追加が制限されます
- エクスポートは、レコード作成順の上位 3 件までです
- バックアップファイルの書き出しは出来ません
- 宛名印刷を行うと印刷面に「Sample」という文字が表示されます
- 郵便番号データベースの使用は、ソフトを起動する毎に 5 回までです

■ご購入方法

継続して使用する場合は、ライセンスキーの購入をお願いいたします。本ソフトウェアにライセンスキーを登録すると、試用期間中の機能制限が解除されます。

ご購入方法

<http://poweraddress.powershift.jp/howtobuy/>

■ユーザー登録、登録内容の変更

ユーザー登録を行うと、アップグレードや製品に関するサポートサービスなど、PowerAddress 正規ユーザーとしての特典が得られます。ユーザー登録の手順はご購入方法により異なります。通常は、ご購入手続きと同時に行われます。

ユーザー登録

<http://poweraddress.powershift.jp/registration/>

■Product ID について

本ソフトウェアを起動すると、製品固有の番号 (Product ID) が自動的に生成されます。ライセンスキー登録の有無に関わらず、一度起動した本ソフトウェアをバックアップ目的以外に複製および配布しないでください。この番号は、アップグレードやお問い合わせの際などに必要となる場合があります。ライセンスキーとともに大切にお取り扱いください。

■データの移行について

まず、移行元の PowerAddress を起動し、バックアップ機能を使って全レコードをエクスポートするか、標準のエクスポート機能を使って任意のレコードをエクスポートします。次に、移行先の PowerAddress を起動し、旧バージョンでエクスポートしたファイルをインポートします。バージョン毎の移行方法の詳細は、以下のページを参照してください。

住所録データの移行方法

<http://poweraddress.powershift.jp/quickstart/migration/>

以下は、バックアップ機能を使って全レコードを移行する例です。

1. 移行元の設定画面にある [住所録をバックアップ...] をクリック
2. [Text] か [Text,Img] をクリックしてバックアップファイルを作成 ※1
3. 移行先の設定画面にあるバックアップの [インポート...] をクリック
4. 表示を [Merge] か [FileMaker] にし、バックアップファイルを指定 ※2
5. 配置順を「照合名順」にし、新規レコードとしてインポート
6. 必要に応じて設定値の内容を移行 ※3
7. 必要に応じてポップアップメニューの内容を移行 ※4

※1、[Text,Img] でのバックアップファイル (backup_text_img) について
v4.7 以前のは、FileMaker Pro 12 を使って変換する必要があります。

※2、表示またはファイルの種類について

[Text] 形式は [Merge] を、[Text,Img] 形式は [FileMaker] を指定します。

※3、設定値の移行方法について

移行元の設定画面にある [設定値をバックアップ...] を実行し、書き出した設定値ファイル (Preferences) を移行先の PowerAddress フォルダ内に移動します。その後、移行先の設定画面にある設定値の [インポート...] を実行します。

※4、ポップアップメニューの内容について

カテゴリやメモなどのメニューを編集した場合は、その内容をコピー&ペーストして移行する必要があります。該当するメニューの「編集...」を開き、メニュー内容をコピーまたはペーストして移行してください。v4.8.2 からは、設定画面にある [設定値をバックアップ...] を実行すると、PA_backup フォルダ内に個々のメニュー内容が保存されます。これらをコピーして移行することもできます。

2. 動作環境

本ソフトウェアをインストールして使用するには、最低限、以下の動作環境が必要です。最新の情報は PowerAddress のホームページを参照してください。

■Win/Mac ランタイム版

Windows 版：Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8

Mac 版：Mac OS X 10.6、OS X Lion 10.7、OS X Mountain Lion 10.8

ランタイム版の単独使用のほか、FileMaker 製品を使ってより高度な機能を利用することも可能です。

■FileMaker 版

利用形態に応じた FileMaker 製品が必要です。2013 年 5 月現在、FileMaker Pro 12、FileMaker Go 12、FileMaker Server 12 で動作することを確認しております。Windows、Mac、iPad、iPhone、iPod touch などのシステム条件は、各 FileMaker 製品のシステム条件に準じます。

自身と 9 以下の FileMaker クライアント（Win/Mac/iOS）で共有するには、ホストと各クライアントのパソコンに FileMaker Pro が必要です。iPad、iPhone、iPod touch などには FileMaker Go が必要です。10 以上のクライアントで共有するには、ホストするパソコンまたはサーバーに FileMaker Server が必要です。各クライアントのパソコンには FileMaker Pro が必要です。iPad、iPhone、iPod touch などには FileMaker Go が必要です。

インスタント Web 公開で共有するには、ホストするパソコンまたはサーバに FileMaker Pro または FileMaker Server が必要です。FileMaker Pro での最大接続数は 5 です。6 以上接続するには FileMaker Server が必要です。クライアントとなるパソコンまたは iOS デバイスには Web ブラウザが必要です。

なお、ネットワーク共有時のクライアントや FileMaker Go では、一部の機能がサポートされません。また、同時に共有できるユーザー数は、FileMaker 製品の種類や PowerAddress のライセンスにより異なります。詳しい情報は、本製品のホームページを参照してください。

3. 使用許諾契約書

本ソフトウェアをご使用になる前に、本使用許諾契約書（以下、ライセンスといいます）をよくお読みになって下さい。本ソフトウェアを使用したことにより、ライセンスならびにその内容に同意したことになります。

本ソフトウェアとは、ソフトウェア本体および関連書類、別途購入可能なライセンスキーを含みます。

もし、ライセンスならびにその内容に同意することができない場合、本ソフトウェアを消去していただきますようお願いいたします。

本ライセンスは、本ソフトウェアのすべてあるいはその一部分のコピーを1部または、購入したライセンス数の範囲内で使用できる非独占的権利を許諾するものであり、お客様に対して本ソフトウェアそのものを販売するものではありません。別途定めたライセンス数は、住所を同じにする同一の建物内の家庭、企業、団体内に限り有効です。

お客様は、本ソフトウェアを一台または購入したライセンス数と同じ台数分のコンピュータで使用する権利を有します。複数の人が使用する環境では、コンピュータの台数分または使用する人数分のライセンスが必要です。

お客様は、ライセンスキー登録の有無に関わらず、本ソフトウェアをリバースエンジニア、逆コンパイルまたは逆アセンブルしてはなりません。その他の方法で本ソフトウェアを人間が理解できる形式に変えたり解析してはなりません。

お客様は、本ソフトウェアをバックアップ目的以外で複製したり、修正、変換、改造、翻訳、レンタル、リース、貸与してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアもしくはその一部に基づく派生的な著作物（二次的著作物）を作成してはなりません。ライセンスキーについても、第三者への開示、レンタル、リース、貸与してはなりません。

お客様にライセンスされたソフトウェアは、いくつかの管理用パスワード（ユーザパスワードとは異なります）により保護されています。お客様はそのパスワードを追加、削除したり、変更する権限がなく、パワーシフトのみがそれらのパスワードの追加、削除、または変更する権限を有します。

（次ページに続く）

お客様は、事前にパワーシフトによる承諾を得ずに、本ライセンスのもとでのお客様の権利を第三者に移転したり譲渡することはできません。

お客様は、法律により認可される場合を除いて、本ソフトウェアを使用、輸出、再輸出してはなりません。

本ソフトウェアおよび関連書類は、単純にそのままの形態で提供されるものです。パワーシフトは、明示的であれ暗示的であれ、このソフトウェアの使用に関し、一切の保証をするものではなく、特定の目的に対してその市場性や適応性を保証するものでもありません。また、いかなる状況においても、このソフトウェアを使用することによって万が一発生した損害に対し、何ら責任を負うものではありません。

この許諾契約書の如何なる部分にも抵触した場合には、本ソフトウェアを使用する権利は自動的に消滅し、本ソフトウェアに関する全てのファイルを削除しなければなりません。たとえあとで譲渡されようとも、本ライセンス契約に定められる制限の対象となります。

本ソフトウェアはパワーシフト（ある部分については、FileMaker,Inc.）が著作権を含むすべての権利を保有しています。

4. インストール／アンインストール方法

Win/Mac ランタイム版の PowerAddress RT は、FileMaker 製品がなくても基本的な機能が使えます。FileMaker 製品を使ってより高度な機能を利用することも可能です。ダウンロードファイルは、Windows 用と Mac 用に分かれています。

FileMaker 版の PowerAddress FM は、FileMaker 製品を使って動作します。起動のためのファイル群が不要なため、最小限のファイルサイズでご利用いただけます。ダウンロードファイルは、Windows 用と Mac 用の区別はありません。

何れの PowerAddress も、ダウンロードしたファイルを展開（解凍ともいいます）してからご利用ください。お客様の環境によっては自動で展開される場合もあります。展開が終了すると「PowerAddress RT 4.9」または「PowerAddress FM 4.9」というフォルダ（以降、単に PowerAddress フォルダと呼びます）が現れます。

■ランタイム版を利用する場合

展開した PowerAddress フォルダを任意の場所へ移動してください。
アンインストールする場合は、PowerAddress フォルダを削除してください。

Windows ランタイム版のレジストリ設定は次の場所に保存されます。

HKEY_CURRENT_USER¥Software¥FileMaker¥PowerAddress¥12.0

拡張子（pa12）は HKEY_CLASSES_ROOT に登録されます。

Mac ランタイム版の環境設定ファイルは次の場所に保存されます。

~/Library/Preferences/com.filemaker.client.runtime12.PowerAddress.plist

■FileMaker Pro でランタイム版または FileMaker 版を利用する場合

展開した PowerAddress フォルダを任意の場所へ移動してください。
アンインストールする場合は、PowerAddress フォルダを削除してください。

■FileMaker Go でライントタイム版または FileMaker 版を利用する場合

展開した PowerAddress フォルダ内の main、data、zipcode を iTunes を使って iOS デバイス (iPad、iPhone、iPod touch) に転送 (コピー) します。あらかじめ、iOS デバイスには FileMaker Go を、パソコンには iTunes をインストールしておく必要があります。詳しい手順は以下のとおりです。

1. 本製品をダウンロードして展開 (解凍)
2. iOS デバイスをパソコンに接続し iTunes を開く
3. iTunes の画面左に表示される自身のデバイスをクリック
4. 画面上のメニューから [App] をクリック
5. 画面下のファイル共有の App リストから [FileMaker Go] をクリック
6. [追加...] をクリックし、PowerAddress フォルダ内の main、data、zipcode を転送 (コピー)

アンインストールする場合は、FileMaker Go の書類から main、data、zipcode を削除してください。

■FileMaker Server でライントタイム版または FileMaker 版を利用する

展開した PowerAddress フォルダ内の main、data、zipcode (インスタント Web 公開のみなら zipcode は不要) を FileMaker Server サーバーの任意の場所にアップロードしてください。「PowerAddress」などの名称でサブフォルダを作成し、その中に各ファイルをアップロードするとよいでしょう。

ライセンスの登録処理は、ランタイム版はランタイム上で、FileMaker 版は FileMaker Pro 上でそれぞれ実行する必要があります。ライセンス登録後は、main を再度アップロードしてください。

アンインストールする場合は、アップロードしたファイルを削除してください。

5. 起動／終了方法

■Win/Mac ランタイム利用時

PowerAddress フォルダ内の PowerAddress をダブルクリックしてください。

終了するには、メニュータブの [Quit] をクリックするか、ファイルメニューから [終了] を選択してください。

■FileMaker Pro 利用時

FileMaker 版を開くには、FileMaker Pro を起動し、[ファイル] メニューから main を指定するか、PowerAddress フォルダ内の main をダブルクリックしてください。ラインタイム版を開くには、FileMaker Pro を起動し、[ファイル] メニューから main を指定してください。

FileMaker Pro でネットワーク共有する場合は、ホストとなるパソコンで FileMaker Pro を起動し、main を開いてください。[ファイル> 共有設定> FileMaker ネットワーク...] の [ネットワーク共有] は ON にします。ネットワーク上の main を開くには、クライアントの FileMaker Pro の [ファイル] メニューから [共有ファイルを開く...] を選択し、ホストと main を指定してください。

FileMaker Pro でインスタント Web 公開を行う場合は、ホストとなるパソコンで FileMaker Pro を起動し、main を開いてください。[ファイル> 共有設定> インスタント Web 公開...] の [インスタント Web 公開] は ON にします。ネットワーク上の main を開くには、クライアントのブラウザでホストと main を指定し、ゲストアカウントでログインしてください。

終了するには、メニュータブの [Quit] をクリックするか、FileMaker Pro の [ファイル] メニューから [閉じる] を選択してください。

■FileMaker Go for iPad 利用時

FileMaker Go を起動し、左側の「デバイス上のファイル」から main を指定してください。ネットワーク上の main を開くには、右側の「リモートファイルとホスト」からホストと main を指定してください。

終了するには、メニュータブの [Quit] をタップするか、画面左上のウィンドウ一覧をタップし、main を閉じてください。

■FileMaker Go for iPhone 利用時

FileMaker Go を起動し、[ファイルブラウザを開く...] をタップし、ファイルブラウザ内の「デバイス上のファイル」から main を指定してください。ネットワーク上の main を開くには、ファイルブラウザ内の「ローカルネットワークホスト」からホストと main を指定してください。

終了するには、メニュータブの [Quit] をタップするか、画面左上のウィンドウ一覧をタップし、main を閉じてください。

■FileMaker Server 利用時

FileMaker Server でネットワーク共有する場合は、ホストとなるパソコンまたはサーバーで FileMaker Server サーバーを起動し、アップロードした main、data、zipcode を開いてください。ネットワーク上の main を開くには、クライアントの FileMaker Pro の [ファイル] メニューから [共有ファイルを開く...] を選択し、ホストと main を指定してください。

FileMaker Server でインスタント Web 公開を行う場合は、ホストとなるパソコンまたはサーバーで FileMaker Server サーバーを起動し、アップロードした main と data を開いてください。ネットワーク上の main を開くには、クライアントのブラウザでホストと main を指定し、ゲストアカウントでログインしてください。

終了するには、クライアントの PowerAddress を終了し、ホストの FileMaker Pro または FileMaker Server を終了してください。

6. 基本的な使い方

PowerAddress の基本的な操作方法についてご説明します。
操作方法の詳細については、以下のページを参照してください。

ヘルプ

<http://poweraddress.powershift.jp/help/>

レイアウトの切り替え

アプリケーションウィンドウ内のメニュータブをクリックしてください。いくつかのレイアウト内には、表示項目を切り替えるためのサブメニューやボタンがあります。PowerAddress の主なレイアウトは以下のとおりです。

■リスト、表

対象レコードをリスト形式または表形式で表示するレイアウトです。あらかじめ表示項目を分類した8種類のリストと、表計算ソフトのように個々のデータ項目を編集することができる一覧表があります。

■カード

レコードをカード形式で表示するレイアウトです。詳しい情報の入力および表示用に3種類のカード形式レイアウトと、印刷内容をプレビューしながらデータの入力および編集ができる印刷向けのカード形式レイアウトがあります。

■検索

レコード内のフィールドを横断検索するレイアウトと、3種類のカードに対応した検索レイアウトがあります。

■インポート

指定されたファイルまたはデータソースからレコードをインポート（取り込み）するレイアウトです。

■エクスポート

指定されたファイルにレコードをエクスポート（書き出し）するレイアウトです。Mac では、アドレスブックの更新ボタンが有効になります。

■印刷

リスト印刷、カード印刷、はがき、封筒、ラベルへの宛名印刷を行うレイアウトです。印刷対象の用紙をクリックする前の「印刷一覧レイアウト」と、印刷対象の用紙をクリックした後の「印刷詳細レイアウト」の2構成になっています。前者はプレビューなしの一覧レイアウト。後者は実サイズのプレビューと、印刷内容を確認するためのフィールドが配置されています。

■メール

電子メールを作成し、メールソフト経由での送信を行うレイアウトです。複数の宛先を指定できるのはもちろん、メールの件名や本文に任意のフィールドを差し込み、レコード毎にカスタマイズした電子メールの作成が可能です。

■設定

PowerAddress の諸設定を行うレイアウトです。

レコードの基本操作について

レコードの新規追加、複製、削除、除外、カード検索、対象レコードの入れ替え、全レコードの表示などの基本操作は、リスト／カード／印刷レイアウト上にあるボタンをクリックします。

■新規

レコードを新規追加します。

■複製

現在のレコードを複製します。

■検索

カード検索を行います。最後に開いたカード画面が Simple なら、Simple 用のカード検索レイアウトが、Full なら Full 用のカード検索レイアウトが、Memo なら Memo 用のカード検索レイアウトが開きます。

■削除...

現在のレコードを削除します。対象レコードを全て削除することもできます。

■対象外...

指定したレコードを対象レコードから除外します。複数のレコードを除外することもできます。複数のレコードを除外する際は、現在のレコードを起点に除外数を指定します。現在のレコード以降の全てを除外したい場合は、適当な大きな数字（1000件の対象レコードがある場合は9999など）を指定すると有効数を割り出し除外します。

■対象入替

対象レコードと対象レコード以外のレコードを入れ替えます。

■全て表示

全てのレコードを表示します。対象レコードは全レコードとなります。

データの入力

入力したいフィールドをクリックすると入力可能状態になります。Tab キーや return キーを押すと、次のフィールドが入力可能状態となります。

データの確定について

フィールドに入力された値は、データが確定された後に自動的に保存されます。データは、次の何れかの操作を行った時点で確定されます。

- 他のレコードを選択する
- 現在のフィールド以外の場所をクリックする
- Windows の場合、テンキーの Enter、または Ctrl+Enter を押す
- Mac の場合、enter キーを押す

住所の入力について

住所欄は、郵便番号、都道府県、市区町村、町域、番地、建物名の6つに分かれています。必ずしもこの分割方法を強要するものではありませんが、分割して入力しておけば、以下のような住所データが自動的に生成されます。

- 郵便番号～建物名の連結データ
- 都道府県～建物名の連結データ
- 都道府県～番地の連結データ（2分割向け）
- 市区町村～町域の連結データ（3分割または4分割向け）
- 町域～建物名の連結データ（3分割向け）
- 町域～番地の連結データ（4分割向け）
- 番地～建物名等の連結データ（3分割または4分割向け）

これらのデータは、郵便番号、都道府県、市区町村、町域、番地、建物名とともに、自由に組み合わせてエクスポートすることができます。これにより、一度入力した住所データを任意の形式で再利用することが可能です。

住所の分割数や表示方法が異なるファイル形式（vCard、Windows アドレス帳 CSV、Yahoo!アドレスブック CSV、Google Gmail 連絡先 CSV）にエクスポートする際は、対応する項目が自動的に割り当てられます。住所の分割数を意識したり、エクスポート後に別途編集する必要はありません。

住所を分割して管理しておくことで、新たな手間やコストをかけずに、データの再利用やフォーマット変換が行えます。住所を1つか2つの欄を使って管理することもできますが、分割されていない住所を編集するのは大変な作業です。

郵便番号データベースについて

カードまたは印刷画面に配置している [所属] ラベルと住所欄の [〒] マークは、郵便番号データベースの起動ボタンとして機能します。

郵便番号データベースを起動すると、対応したフィールドの内容で郵便番号データベースを検索し、候補がある場合はそのリストを表示します。

候補の中から転載データに対応したボタン（[〒]、[住所]、[事業所名]、[全て]）をクリックすると、該当するフィールドへデータが転載されます。

検索について

姓名の先頭文字で検索する「クイック検索」、データ項目を指定して検索する「カード検索」、複数のデータ項目を横断的に検索する「横断検索」の3種類の検索方法があります。

■クイック検索

姓名の先頭文字や、マークの有無、英住所の検索および除外などを素早く検索できます。姓名の先頭文字から検索する場合は、あらかじめ姓名のふりがなが設

定されている必要があります。

クイック検索を行うには、リストや印刷詳細レイアウトの画面上部にある [あ]、[か]、[さ] などのボタンをクリックします。

■カード検索

データ項目を指定して検索します。リスト、カード、インポート、エクスポート、印刷レイアウトにある [検索] ボタンをクリックするか、検索レイアウトのサブメニュー（Simple、Full、Memo）から移行すると、カード検索レイアウトが表示されます。検索対象のフィールドにキーワードを入力し、enter キーか [検索実行] ボタンをクリックします。

■横断検索

複数のデータ項目を横断的に検索します。検索レイアウトのサブメニューから [横断検索] を選び、検索したいキーワードを入力すると、すべてのフィールドを対象に検索が行われます。

—————

印刷について

—————

リスト印刷、カード印刷、はがき、長封筒、洋封筒、ラベルへの宛名印刷が行えます。印刷したい用紙をクリックする前の「一覧レイアウト」と、用紙をクリックした後の「詳細レイアウト」の2構成になっています。「詳細レイアウト」は、実サイズのプレビュー画面と印刷内容を確認するためのフィールドが配置されています。

現在のレコードを1件だけ印刷する場合は、スクリプトメニューから「現在のレコードのみ表示」などを実行してあらかじめ対象レコードを1件にするか、プリントダイアログで「現在のレコード」を指定します。

対象レコードを一括して印刷する場合は、プリントダイアログで「対象レコード」を指定します。

ラベル印刷時は、印刷前に表示されるレイアウトで「現在のレコード」、「対象レコード」、「現在のレコードを繰り返し印刷」の中から選択して印刷します。

電子メールの作成と送信について

メール画面を使うと、メールソフト経由でのメール送信が簡単に行えます。メールソフトの挙動設定で [ダイアログなしで実行] を OFF にしておけば、メールを送信する前に内容を確認することができます。より複雑な処理は、[ファイル] メニューにある [メール...] コマンド (FileMaker Pro 利用時) をご利用ください。

レコードの状態表示

リスト／カード／印刷レイアウトの画面右上には、レコードの状態を示す情報が表示されています。

■番号

対象レコードの中で、現在のレコードが何番目にあるかを表示します。対象レコードをソートすると番号も変わります。

■対象

対象レコードの数を表示します。

■総数

全レコードの数を表示します。

■順序

対象レコードのソート状態を表示します。ソート名の前の記号「▲」は昇順、

「▼」は降順を表しています。ソート後、レコードが新規追加または複製され、対象レコードが部分的にソートされているときは「△」や「▽」となります。

メニューコマンドについて

メニューコマンドは、モードの違いやフィールド選択状態などにより、使用できる項目が変わります。

モードについて

PowerAddress には、ブラウズモード、検索モードの2つの状態があります。データの入力や閲覧など、ほとんどの操作はブラウズモードで行います。

検索を行なうときだけ検索モードに切り替わり、検索条件の入力待ちとなります。検索が終わると自動的にブラウズモードに切り替わります。

モードの違いにより、使用できるメニューコマンドが変わります。

7. お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、メールにてお受けいたします。最新の情報は PowerAddress のホームページを参照してください。

PowerAddress

<http://poweraddress.powershift.jp/>

■ご購入前のお問い合わせ先

Powershift (パワーシフト) 受付

メール : info@powershift.ne.jp

フォーム : <http://poweraddress.powershift.jp/contact/>

■ご購入後のお問い合わせ先

Powershift (パワーシフト) サポート

メール : support@powershift.ne.jp

フォーム : <http://poweraddress.powershift.jp/contact/>

■緊急時のお問い合わせ先

原則、メールでのサポートとなります。

Powershift (パワーシフト)

運営責任者 : 山本 泰弘

メール : yasuhiro@powershift.ne.jp

T E L : 042-525-5991 山本@Powershift

万が一、メールの返事がない場合や返事が遅いと感じた場合は、下記メール宛てにもお問い合わせください。お客様のメールフォルダや迷惑メールフォルダ、メールソフトの設定なども再確認していただければ幸いです。

Powershift (パワーシフト)

メール : powershift@nifty.com

8. 著作権情報など

PowerAddress

<http://poweraddress.powershift.jp/>

Powershift (パワーシフト)

info@powershift.ne.jp

<http://www.powershift.ne.jp/>

Copyright © 2000-2013 Powershift All Rights Reserved.

このファイルのデータベース構造等は、上記デベロッパのみが変更できます。
カスタマイズに関する情報については、上記デベロッパにお問い合わせください。
このデータベースソリューションには、上記デベロッパのみが提供できるパスワードが含まれています。

Portions of this software are Copyright 1984-2013 by FileMaker, Inc. All rights reserved.

FileMaker およびファイルメーカーは、FileMaker, Inc. の登録商標です。
その他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。また、製品およびサンプルファイルなどに登場する会社名、氏名、住所電話番号などのデータは架空のもので、実在する企業、人物等には一切関係ありません。